切り花への支出

- 家計調査 (二人以上の世帯) 結果より -

5月の第2日曜日は「母の日」です。母の日の 由来には諸説あり、国によって日にちも異なって いるようですが、この日にカーネーションを母に 贈る風習は、アメリカが起源と言われています。 今年も花を贈った、もしくは贈られたという御家 庭も多いのではないでしょうか。そこで今月は、 切り花への支出をみてみましょう。

母の日の支出は平均の約3倍

平成19年5月の切り花の1世帯当たり日別支 出金額をみると、母の日の13日(約106円)は1 日当たり支出金額の5月平均(約32円)の約3 倍となっています(図1)。

また、前日の12日と合わせた支出金額は、5 月の切り花の支出金額の約2割を占めています。

年間支出金額の1位は仙台市

次に、切り花の1世帯当たり年間支出金額(平 成17~19年平均)を都道府県庁所在市別にみると、 仙台市が15,518円と最も高く、次いで福島市 15,505円、鹿児島市14,979円となっています(図 2)

世帯主の年齢とともに増加

最後に、世帯主の年齢階級別に1世帯当たり切 り花の年間支出金額をみると、世帯主の年齢が60 ~69歳の世帯が最も多く、最も少ない30~39歳の 世帯の約4倍となっています。これは、世帯主の 年齢が高い世帯では、母の日のような特定の日に 限らず、ご先祖様に供える切り花などを購入して いるためとみられます(図3)。

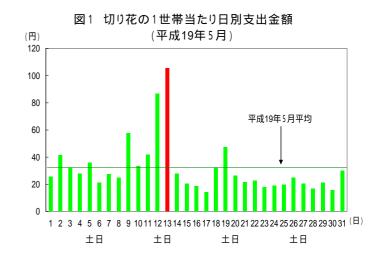


図2 切り花の1世帯当たり年間支出金額の 都道府県庁所在市別ランキング



図3 切り花の世帯主の年齢階級別 1世帯当たり支出金額(平成19年)

